

📄 制度の概要

三菱UFJ技術育成財団による**技術指向型中小企業**の育成を目的とした研究開発助成制度です。設立以来、新技術・新製品等の研究開発に対する助成金交付事業を行っており、**新規性・独創性**に富むプロジェクトの支援を通じて、我が国産業の発展並びに中小企業の経営高度化に貢献しています。

2025年度は前年度と同様の制度設計で、年2回の公募期間を設けています。申請書類は今年度よりメール送付に変更され、申請手続きが簡素化されました。他の助成金制度との併願も可能で、多様な資金調達機会を活用できる制度です。

🔗 支援内容

☐ 研究開発助成

- ☐ 新技術・新製品及び関連する設備・部品・原材料等の開発
- ☐ 産業経済の健全な発展と国民生活の向上に資する技術開発
- ☐ 原則として**2年以内に事業化**の可能性があるプロジェクト

最大300万円

助成率：1/2以内

🎯 対象経費

- ☐ **調査研究費**：市場調査、技術調査等
- ☐ **設計費**：製品・システム設計費用
- ☐ **設備費**：研究開発に必要な機器・装置
- ☐ **試験費**：性能評価、品質検証等
- ☐ **試作費**：プロトタイプ製作費用

👥 対象者

- ☐ **設立後または創業後5年以内**の中小企業
- ☐ **新規事業進出後5年以内**の中小企業
- ☐ 優れた新技術・新製品等を自ら開発し、事業化計画を持つ個人事業者

※大企業や上場企業の子会社・関連会社は対象外

⚠️ 補足事項

- ☐ 助成金交付後、プロジェクト完了まで**最長5年間**の定期報告が必要
- ☐ 用途変更には当財団の事前承認が必要
- ☐ 重大な影響を及ぼす事実（事業譲渡、組織再編等）発生時の報告義務
- ☐ 違反行為が判明した場合、助成金の全部または一部返還の可能性

📊 戦略的分析

【採択のポイント】

- ☐ **新規性・独創性**：既存技術からの明確な差別化要素を示すことが重要
- ☐ **事業化の実現性**：2年以内の具体的な事業化スケジュールの提示
- ☐ **市場ニーズ**：産業経済や国民生活への貢献度を明確に説明
- ☐ **技術的実現性**：開発リスクを踏まえた現実的な計画立案

【申請戦略】

- ☐ **年2回の申請機会**を活用し、準備状況に応じた最適なタイミングで申請
- ☐ **他制度との併願**を戦略的に組み合わせ、資金調達の多様化を図る
- ☐ **メール申請**の利便性を活かし、申請前の事前相談を積極的に活用

📈 申請時期別傾向



第1回申請（4-5月）：年度初めのため申請件数が多く競争が激化

第2回申請（9-10月）：相対的に申請件数が少なく、採択率が高い傾向

💡 開発分野と事例

開発分野	代表的な技術例
製造技術	精密加工技術、新素材製造、自動化システム
情報通信	AI・IoT活用システム、セキュリティ技術
環境・エネルギー	省エネ技術、再生可能エネルギー、環境浄化
医療・バイオ	診断機器、治療技術、バイオテクノロジー
材料・部品	機能性材料、電子部品、センサー技術

🏆 採択率向上のポイント

- ☐ **技術的優位性の明確化**：競合技術との差別化ポイントを定量的に説明
- ☐ **市場規模の具体化**：**ターゲット市場**の規模と成長性を数値で示す
- ☐ **事業化計画の詳細化**：2年以内の具体的マイルストーンを設定
- ☐ **リスク対策の明示**：技術的リスクと対応策を事前に検討・提示

👤 専門家活用のススメ

- ☐ **技術評価支援**：客観的な技術評価と市場性分析の実施
- ☐ **申請書作成支援**：採択実績豊富な専門家による申請書レビュー
- ☐ **事業化計画策定**：現実的かつ説得力のある事業計画の構築
- ☐ **継続支援体制**：助成期間中の進捗管理と課題解決サポート

📁 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/4作成】

提出書類	チェックポイント
申請書	<ul style="list-style-type: none">☐ 新規性・独創性を具体的に記述☐ 事業化までの具体的スケジュールを明記☐ 市場ニーズとの整合性を説明
事業計画書	<ul style="list-style-type: none">☐ 2年以内の事業化計画を詳細に記載☐ 収益予測と市場分析の根拠を明示
技術資料	<ul style="list-style-type: none">☐ 技術的実現性を裏付ける資料添付☐ 競合技術との比較優位性を説明
財務資料	<ul style="list-style-type: none">☐ 直近の決算書または財務状況資料☐ 資金計画と調達予定の明記

📅 申請スケジュール

📌 事前準備

申請書類の準備に1-2ヶ月程度を要します。技術資料の整理と事業計画の精査が重要です。

📌 第1回公募

2025年4月20日（日）～5月20日（火）

メール送付による申請受付

※申請書フォーマットは財団HPから取得

📌 第2回公募

2025年9月20日（土）～10月20日（月）

第1回で採択されなかった場合の再申請機会

📌 審査・交付決定

第1回：2025年9月頃

第2回：2026年2月頃

📌 助成金交付

交付決定と同時期に実施

プロジェクト開始後、最長5年間の報告義務

❓ 問い合わせ

制度詳細	https://www.mutech.or.jp
申請書	申請書フォーマットは上記サイトに掲示
お問い合わせ	公益財団法人 三菱UFJ技術育成財団 〒105-0014 東京都港区芝2丁目4番3号 三菱UFJ銀行芝ビル TEL：03-5730-0338 ※お問い合わせは制度詳細ページよりE-mailでお願いいたします。